事業完了報告書

提出日：2023 年　5 月　22 日

１．事業概要

（1）実行団体名：特定非営利活動法人ながのこどもの城いきいきプロジェクト
（2）事業名　：　台風１９号による被害を受けた子どもとその保護者への支援事業
（3）事業実施期間：2020 年 6 月～2023 年 3 月
（4）資金分配団体名：特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム

2. 規程類の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1）事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑　完了　／　☐　整備中
→上記で「整備中」を選択した場合、整備できていない理由を記載してください。また、事業開始時と比較して、整備状況が改善された点を記載してください。
（2）　整備が完了した規程類を自団体の web サイト上で広く一般公開していますか。
☒　全て公開した　／　☐　一部未公開　／　☐　未公開
→上記で「一部未公開」または「未公開」を選択した場合、その理由と公開予定日を記載してください。
（3）　変更があった規程類に関して JANPIA に報告しましたか。
☐　変更があり報告済　／　☐　変更があったが未報告　／　☑　変更はなかった
→上記で「変更があったが未報告」を選択した場合、その理由を記載してください。

3. ガバナンス・コンプライアンス体制の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1）　社員総会または評議員会、理事会は、規程類の定めるとおりに開催されていますか。
☑　はい　／　☐　いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。

（2） 内部通報制度は整備されていますか。
☑ はい ／ □ いいえ
→上記で「はい」を選択した場合、設置方法を以下から選んでください。（複数選択可） ☑ 内部に窓口を設置 ／ □ 外部に窓口を設置 ／ □ JANPIA の窓口を利用
（3） 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
□ はい ／ ☑ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。 ・コロナ渦で理事会がリアル開催できなかったことと、事業に追われ事務作業が手薄になり定期的に行えなかった。
（4） 関連する規程類や資金提供契約の定めるとおりに情報公開を行っていますか。
☑ はい ／ □ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（5） コンプライアンス責任者を設置していましたか。
☑ はい ／ □ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（6） ガバナンス・コンプライアンス体制の整備や強化施策を検討・実施しましたか。
□ はい ／ ☑ いいえ
→【任意】上記で「はい」を選択した場合、どのような検討・実施をしたか事例を記載してください。
（7） 報告年度の会計監査はどのように実施しましたか。（実施予定の場合を含む）
□ 外部監査 ／ ☑ 内部監査 ／ □ 実施予定もない ※（複数選択可）
→上記で「外部監査」または「内部監査」を選択した場合、その実施者を記載してください。 法人監事により実施予定
（8） 本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。
□ はい ／ ☑ いいえ

4. 広報実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、設問に回答してください。

（1）シンボルマークの活用状況	
☑ 自団体のウェブサイトで表示している	☑ 広報制作物に表示している
☑ 報告書に表示している	☑ イベント実施時に表示している
☐ その他 →「その他」を選択した場合は記載してください （自由記述）：	

最終年度の広報実績について記載してください。

<table>
<tr><th>広報種類</th><th>有無</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）</td><td>有</td><td>法人ホームページに、独自のページを作り、事業の予定や開催状況を毎回掲示し、広報した。</td></tr>
<tr><td>広報制作物等</td><td>有</td><td>事業ごとにチラシを作成し、該当施設を通して対象者にまた参加者に配布した。
<table>
<tr><th>事業名</th><th>作成数</th><th>該当施設</th><th>配布数</th></tr>
<tr><td>子どもの居場所@バーチャル</td><td>1,000 枚
4 月</td><td>東北中学校 530, 豊野中学校 260
長沼小学校 50, 豊野公民館 30, 古里公民館 30, 長沼支所 30
予備 70</td><td>1,000 枚</td></tr>
<tr><td>子どもの居場所 in　古里</td><td>120 枚
4 月</td><td>長沼小学校 100
予備 20</td><td>120 枚</td></tr>
<tr><td>ながのこどもわくわくカフェ</td><td>1,200 枚
4 月</td><td>鍋屋田小 220
城東小　320
山王小　230
加茂小　230
柳町中　30
桜ケ岡中 30
西部中 30
本願寺長野別院 30
権堂イーストプラザ 30
地域まるごとキャンパス 30
予備 20</td><td>1,200 枚</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3">子どものリフレッシュプログラム</td><td>初夏のDAYキャンプ</td><td>2,000枚
5月</td><td>長沼小　100
豊野西小 200
豊野東小 100
松代小　150
東条小　100
寺尾小　100
篠ノ井地区 800
予備 450</td><td>1,700枚</td></tr>
<tr><td>飯綱でDAYキャンプ</td><td>80枚
5月</td><td>長沼小
3,4,5,6年生
80枚</td><td>80枚</td></tr>
<tr><td>ウィンターキャンプ</td><td>70枚
10月</td><td>長沼小学校
4.5.6年生 70枚</td><td>70枚</td></tr>
<tr><td>報告書等</td><td>有</td><td colspan="5">・リフレッシュプログラム（初夏のDAYキャンプ、ウィンターキャンプ）開催後に報告書を作成し、参加者、参加者、協力団代、関係機関（長沼小学校、教育委員会、ライオンズクラブ）に報告をした。
・評価報告書を作成し、関係者、関係機関に報告</td></tr>
</table>

5. その他（本助成を通じて組織として強化された事項や新たに認識した課題、今後の対応/あればよいと思う支援や改善を求めたい事項など、自由にご記載ください。）

・本事業の助成申請にあたって、規程類が整備できるなど法人の組織強化につながった。
・災害直後の避難所における支援から3年間継続した災害支援事業を通して、長野市において民間と行政が連携して、緊急時の子ども支援のネットワークが形成できるなど事業の発展ができた。
・被災した子どもやその保護者の中には、被災後3年を経過しているにもかかわらず、大雨を嫌がる、怖がる等の姿も見られ、今後の継続的な支援の必要性を感じ、課題である。

【子どもの居場所 in ふるさと】
災害直後から関わった、北部スポーツ・レクリエーションパーク内に設置された「子どもの居場所」を、休日の子どもの居場所として三年間継続しました。2022 年 12 月に開催したクリスマス会には、参加者や保護者、支援関係者総勢 48 名が集まり、楽しみながら三年間を振り返りました。

【ウィンターキャンプ】
2021 年度に実施した長沼小学校アンケートで最もニーズが高かった子どものリフレッシュプログラム。三年間継続実施した「ウィンターキャンプ」では、野外レクリエーションや宿坊への宿泊体験に加え、SDG s ワークショップを実施する中で、未来につながる子どもたちのアイデアに驚かされました。

【ながのこどもわくわくカフェ】
長野市中心市街地で毎月 3 回実施した「ながのこどもわくわくカフェ」には、長野市内各地から未就学児から高校生まで、幅広い年齢層の子ども達が集まり、学びや交流をともにしました。コロナ禍でもニーズが高かったため、食事を配食弁当に切り替えるなどの工夫をしながら三年間継続しました。

【子どもの居場所@バーチャル／公民館自習室】
コロナ禍でオンライン学習会とスタートした「子どもの居場所@バーチャル」は、コロナウィルスの感染状況やニーズに応じて形を変えながら、オンラインとリアルを融合させて三年間実施。2022 年 12 月には、古里と豊野の 2 会場をオンラインでつないでクリスマス企画を実施しました。

【春のリフレッシュプログラム】
小学校低学年も参加できる企画を望む声からスタートした「春のリフレッシュプログラム」。2021 年 3 月には、東京パラリンピックの正式種目でもあるボッチャを体験しました。オリンピック・パラリンピックの開催間近とあって、子どもたちの関心も高く、夢中になって楽しんでいました。